

一般国道 474 号三遠南信自動車道青崩峠道路に係る令和 2 年度事後調査  
報告書の概要について

1 一般国道 474 号三遠南信自動車道青崩峠道路

(1) 事業の概要

① 事業者	国土交通省中部地方整備局
② 事業実施区域	飯田市（～静岡県浜松市）
③ 事業の内容	道路の建設
④ 事業の規模	車線数：2、延長：約 3.5km（長野県側、静岡県側を含めた総延長約 6 km）
⑤ 条例該当	第 1 種事業：自動車専用道路の新設（規模要件無）
⑥ 関係地域	飯田市及び天龍村

(2) 事業の経過

H18. 2	環境影響評価方法書公告
H19. 12	環境影響評価準備書公告
H21. 5	環境影響評価書公告
H25. 6	対象事業着手報告書提出

(3) 事後調査報告書の概要

- 工事中における水象、植物、動物、生態系の調査結果を報告。令和 2 年度は、トンネル掘削（約 1.5km/約 2.9km）、残土搬出などの土工工事、橋梁工等を実施。

○ 水象

調査項目	調査内容	調査結果
河川流量	6 地点（毎月）	全地点とも降水量と連動した変化、流量の季節変動は見られるが、全体的な流量の減少は見られない。評価書における予測・評価の範囲内。
地下水位	1 地点（毎月）	H27 年に水位の低下（約 120m）が見られた。R2 年 7 月には孔底の高さに近い水位となり、その後地下水位の大きな変化は見られない。小嵐川や沢の流量には大きな変化は認められず、表流水・浅層地下水の変化は小さいものと考えられる。評価書における予測・評価の範囲内。

○ 植物

調査項目	調査内容	調査結果
カヤラン	移植後の生育状況	移植株（13 株）のうち 10 株を確認

○ 動物

調査項目	調査内容	調査結果
クマタカ	行動圏及び繁殖状況（毎月）	R2 年繁殖期（R2. 4～R2. 8）：繁殖行動は確認なし。3 月時点で H31 年繁殖期の幼鳥が巣に留まっているのを確認。 R3 年繁殖期（R2. 12～R3. 3）：巣の西側尾根で雌雄の並び止まりを確認。今後の行動に留意が必要。
ベニモンカラスジミ※	食草のコバノクロウメモドキの管理	育苗ヤード内で育苗管理、水やり、防風シートの設置を実施（R3 年度移植予定）

※モニタリングは令和元年度で終了

○ 生態系（動物相・植物相）

- ・表流水の減少が想定される溪流等（西沢及び小嵐川源流）においてモニタリングを実施。西沢で植物 9 種、動物 11 種、小嵐川源流で植物 11 種、動物 10 種の指標種（種数は当該地点で選定されたものに限る）を確認。
- ・確認種に多少の変動はあるが、過年度と比べて指標種の確認総数が大きく変化しておらず、生息状況に顕著な変化は見られない。浅層地下水の流出と考えられる各沢の河川流量は大きな変化が確認されなかったことから、トンネル掘削による動植物への影響は小さいと考えられる。